

報道機関に公開された帯広市の新しい総合体育館。メインアリーナはスポーツイベントの拠点になる(21日午前9時50分ごろ、新井拓海撮影)

▶動画は電子版で



## 広々新総体 お披露目 29日オープン 報道機関に公開

帯広市は21日、新総合体育館・よつ葉アリーナ十勝(大通北1)を報道機関に公開した。メイン、サブアリーナを合わせてバスケットボールコート4面分を確保、地域コミュニティや各種イベントの開催拠点となる。オープンは29日。

新総体は鉄筋コンクリート造り3階建て。延べ床面積は1万4848平方メートル。運営を含む全体事業費は103億円。アリーナのほか研修室、トレーニング室などを備える。エレベーターやベビーケアルームを設置、子ども、高齢者、障害者が快適に利用できるようユニバーサルデザインを採用した。

22～24日(午前9時～午後6時)は無料で一般公開する。市教委は「地域の活性化につながるためにも、施設について広く知ってもらおう機会にしたい」(スポーツ振興室)と話している。  
(岡田優人)